

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	福祉心理学		
担当者(Instructors)	高柳 伸哉	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

近年では専門家による治療・支援だけでなく、地域における理解と支援が福祉領域にも求められている。本講義では福祉の担う社会的な役割と、人間の生涯に渡る福祉・心理的支援の可能性について理解し、今後求められる支援の方向性について考察することを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	適宜授業内で考察問題を提示し、受動的な学修だけでなく学生自身の能動的な学修の機会を作る。また、福祉における社会的な課題や対象者への支援に関して小グループでのディスカッションを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 福祉心理学とは	本講義の進め方と福祉心理学の概要について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第2回	生涯発達と福祉心理学	人間の生涯発達と関連する福祉について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	障害の分類と定義に基づいた支援	国際生活機能分類(ICF)のモデルを基に、障害のある人への支援方策について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	障害における心理的支援	障害に関連した心理的問題と支援方策について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	子どもにおける福祉	子どもの生活における福祉について概要を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	大人における福祉	大人の生活における福祉について概要を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	高齢者における福祉	高齢者の生活における福祉について概要を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	発達障害	神経発達障害について、幼少期から生涯に渡る影響について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	偏見と差別I	社会における偏見と差別について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	偏見と差別II	偏見と差別が生じる要因や改善の方策について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	犯罪と非行	犯罪と非行などに関連する障害や、支援の必要性について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	認知症	認知症の概要や取り組みについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	認知症の支援	認知症の患者や家族への支援について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	総合的理解と心理的支援	対象者や家族、周囲の環境を含めた福祉における理解と心理的支援について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	講義のまとめと振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

授業前に各テーマに関して調べてくる。(2時間) 授業後は、生活での出来事やニュースなどにおいて授業内容に関連したことを意識し、振り返る機会とする。(2時間)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出されたミニレポートは、採点の上で返却する。ミニレポートに記載された質問は、まとめて次回授業時に匿名にて全体に提示し、共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
--------------	-------------------	-----------------

	◆ 2018人間健康DP2	個人の生活と社会における障害や、福祉が担う役割、心理的な支援について説明することができる。
	◇ 2018人間健康DP3	それぞれの発達特性や価値観・文化の多様性をふまえ、多様な人々と共生ができる地域づくりを考えることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内においてまとめ試験・レポートを実施する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		